

## ☆ 企業訪問インタビュー



# オーハツ株式会社

## ～微風対応型風力発電システム～

平成21年度に再生可能エネルギー分野でおおさかエコテックの技術評価を受けたオーハツ株式会社が開発した「微風対応型風力発電システム」について、芝谷社長を始め、技術部、営業開発部の社員の方々に製品開発過程や現状と課題などについてお話を伺った。

### 【技術・製品の特長とその開発過程】

オーハツ株式会社では、発電機およびその制御システムをコア技術として、防災用発電装置や風力発電装置の製造・販売を行っている。

本技術の主な特長は、基盤化により低速回転から高速回転まで幅広く電力を得られるようになったこと、特殊結線によりコギングトルクを10分の1に低減させたことなどである。

さらに、動力源は垂直翼（写真参照）を採用していることから、全方位からの風を受けるとともに省スペース化が可能であり、ビルの屋上への設置や、より多くの発電量を要する際には垂直方向へのブレードの追加で対応できるため、特に街中での設置・普及が期待できる。

また、この翼はテニスラケットと同形状の中空CFRPを用いて作製されているため、重量が軽く、弱い風（0.7m/sec程度）でも回転始動が可能である。

コギングトルクの軽減を図るための開発を行っていたとき、思わぬ副産物として高調波の低減技術を閃き、静穏性を獲得した。「閃きは突然舞い降りてくるが、その背景には只ならぬ開発努力がある。」と芝谷社長は語る。



微風対応型風力発電システム

### 【課題と今後の展開】

課題については生産コストに終始する。

本発電システムは生産コストの低い中国で生産しているが、それでも乗用車と同じぐらいの価格になってしまう。節電・省エネが叫ばれている昨今、売り込みに行った企業の先々でも関心は非常に高いが、価格を聞くと二の足を踏んでしまう状況にあるという。このため、優れた製品でもあるにも拘らず、全売上高に占める本システム分はごく僅かという状況である。

今後は、他社から供給を受けている動力源を含めたトータルのシステムとしてももの作りを行い、如何に価格を抑え、この製品の素晴らしさをアピールし、市場展開を図っていくかというところにある。

## 【おおさかエコテックの評価を受けて】

「評価を受けてから、この発電システムの売り上げが増えたということは正直ありません。ただ、おおさかエコテックの評価を受けた技術を持っているということが、当社の信用に繋がり、各企業、特に大企業への営業の際の大きなツールとなっています。そういう意味で、この評価を受けたことの意義は大きいと感じています。」と技術部の木村主任研究員は語られた。

## 【会社概要】

社名(英文社名)	オーハツ株式会社 (OHATSU)
創業(事業開始)	昭和 18 年
設立(法人化)	同上
代表取締役 社長	芝谷 康二
所在地・連絡先	大阪府富田林市甲田 3 丁目 5 番 11 号 0721-24-2688
資本金	6,000 万円
売上高	年商 22 億円
従業員数	95 人
事業内容	1. 防災用、非常用発電装置の製作、販売 2. 小型風力・水力発電装置の製作、販売
会社ホームページ	<a href="http://www.ohatsu.co.jp/index.html">http://www.ohatsu.co.jp/index.html</a>



芝谷社長(前列左)、木村主任研究員(前列右)と社員のみなさん